

防災訓練・・・炊き出しについて

防災倉庫では、食物の備蓄は原則としてしないことになっています。

災害用の食物と水は、各家庭でご用意ください。

ただし、災害の時には調布市から備蓄の食物が届けられます。

その時には、管理組合としても炊き出しをするようになります。

今回は、その時のための実験でもありました。

調布市からは、**山菜おこわのアルファ米 250 人分、クラッカー245 人分を配布**されました。管理組合では、それに加えて**ポカリスエット 250 本、飴 26 袋**、子ども達に**お菓子のセット**を用意しました。それを参加予定者（3月20日現在）240人分作り、階段ごとにまとめて配りました。

これらの中で調理を要する物は、山菜おこわのアルファ米でした。このための炊き出し訓練は、実行してみてわかる事が多く、その一部を報告します。

① **時間、分量、調理方法、道具の使い方など、大量炊事ならではの事がたくさんありました。**

② **8ℓの水、6ℓの水を大鍋、大やかんで集会室のガスや、ボンベによる移動ガスコンロ等で、15分～20分で沸騰する**

③ **1人分の山菜おこわは200gを1パックに詰めればよい**

④ **協力する人は、中心になる人5人、補助する人10人位の人手が必要**

災害の時に、動ける方が集ってドンドン炊き出しを進めていくことになるでしょう。



防災訓練に参加して・・・

ホ 1 溝垣



先日、初めて「**防災訓練**」に参加させていただきました。

当日は、かなりの大雨で子どもを連れての参加はちょっとためらいましたが、参加してみて分かり易く楽しい説明に、いつの間にか子どもと二人で聞き入ってしまいました。

今後も、このような学ぶ機会がありましたら、子どもと一緒に参加したいと思います。

帰宅後、子どもはタオルで包帯の巻き方を弟に教えていました(笑)